

LESSON 1 Start-Up

1 Meeting People

自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday.

Andy: Really? You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.

Andy: Wow! You don't have much free time.

Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

Andy: Hang out with...?

Kenta: Just relax. I like to hang out with my friends. I like to hang out with my friends.

Forms 現在のことは現在形で表す

Andy: What do you usually do after school, Kenta? (AndyはAndyという名前の男子で、KentaはKentaという名前の男子と友達になった。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Andy: Really? You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right? (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Andy: Wow! You don't have much free time. (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Andy: Hang out with...? (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: Just relax. I like to hang out with my friends. I like to hang out with my friends. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Expressions あいづちで関心を示す

Andy: Really? You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right? (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Andy: Wow! You don't have much free time. (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Andy: Hang out with...? (AndyはKentaに自分の学校生活について話している。AndyはKentaに自分の学校生活について話している。)

Kenta: Just relax. I like to hang out with my friends. I like to hang out with my friends. (KentaはAndyに自分の学校生活について話している。KentaはAndyに自分の学校生活について話している。)

Sounds /l/と/r/の発音

/l/と/r/の発音は、舌の先を上歯の裏につけて発音する。/l/は舌の先を上歯の裏につけて発音する。/r/は舌の先を上歯の裏につけて発音する。

例: like, love, really, actually, school, ready, right, friend, free, cram, every, very, light, right, lead, read, glass, collect, correct

Talk

Andy: What do you usually do after school, Kenta?

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday.

Andy: Really? You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.

Andy: Wow! You don't have much free time.

Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

Andy: Hang out with...?

Kenta: Just relax. I like to hang out with my friends. I like to hang out with my friends.

Start-Up

自分のことを話す

CD1-7~10

☐ 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形で表す。肯定文でも疑問文でも、「いつ」「どこで」という情報を添えることによって話を具体的に明確なものにする。

☐ あいづちを打ったり、相手のことばに対する反応を表現し、コミュニケーションを深める。

⇒ Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends. (アンディとケンタは教室で話しています。彼らは友達になったところです)

- What do you usually do after school, Kenta? 「ケンタ、放課後はいつも何をしているの?」
- Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday. 「僕? サッカー部に入ってるから、月曜以外は毎日サッカーをしてるよ」
- Really? You must be very busy! 「そうなんだ! すごく忙しいんだろうね!」

- この Really! はあいづちなので、下がり調子で読む。
- この must は「…にちがいない、きっと…だ」と「確信」を表しており、後ろには be 動詞や状態動詞がくることが多い。(LESSON 7 Interactions を参照) 用いる。
- But you're free on Mondays and weekends, right? 「でも、月曜と週末は時間あるよね?」
- 文末の right? は相手に確認するための表現。以下のように、付加疑問の文でも同様の意味を表せる。
- But you're free on Mondays and weekends, aren't you?
- Actually, I go to cram school every Monday. 「実は、月曜は毎週、塾に通っているんだ」
- actually は相手の発言(月曜と週末は時間がある)をやんわりと否定するために使われている。
- go to cram school は「塾に通う」という意味で、cram school (塾)は無冠詞。この点は go to school や go to bed の school や bed と同様で、school は具体的な建物としての学校や塾ではなく、学習の場としての学校[塾]を表している(つまり、学校[塾]の役割や働きに焦点が当たっている)ため、無冠詞となる。
- なお、cram は「詰め込み勉強」という意味で、cram school は日本の「塾」を指す。日本の教育事情を知らない英米人に a cram school と言っても通じない。アメリカには塾がほとんどなく、イギリスでもあまり多くないためである。
- On weekends, we sometimes have soccer games. 「週末にはときどきサッカーの試合をするんだ」
- 動詞の現在形で習慣を表す場合、しばしば sometimes (ときどき), often (しばしば), once (in) a week (週に1度) など、頻度を表す副詞(句)を伴う。なお、本文の have は「持っている」という意味の状態動詞ではなく、「(試合など)を行う」という意味の動作動詞。
- Wow! You don't have much free time. 「うわー! あまり自由な時間がないんだね」
- much は否定文で用いられると「あまり(～ない)」という意味になる。
- No, not much. 「うん、そうなんだ」
- No, (I do) not (have) much (free time). (うん、自由な時間はあまりないんだ)を短縮した表現。
- 「時間がないんだね」という否定文(あるいは否定疑問文)に同意する(実際に時間がない場合、日本語では「うん[はい]」と言うが、英語では同じく否定を表す No と言う。Yes と応えると「時間がある」という意味になる。
- A: Don't you like sashimi? (きみはお刺身が苦手なの?)
- B: No, I don't. (うん、そうなんだ)
- When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends. 「週末に試合がないときは、友だちと遊びたいな」
- hang out with ... (…と遊ぶ、…といっしょにぶらぶらする) hang は「ぶら下がる」が基本的な意味で、

そこから「ぶらぶら[うろろ]する」という意味が派生した。

Listening-TASK

音声スクリプト

- Kenta plays soccer on Tuesdays.
- Kenta doesn't go to cram school.
- Kenta likes to spend time with his friends when he isn't too busy.

スクリプト訳

- ケンタは毎週火曜日にサッカーをする。
- ケンタは塾に行っていない。
- ケンタは、あまり忙しくないときは友だちと過ごしたい。

解答

- T
- F
- T

Forms 現在のことは現在形で表す

- 現在形を用いて、現在の状態や習慣的に行っていることを表現する。また、現在進行形を用いて、している最中のことを表現する。
- 「～を愛している」「～を知っている」「～を信じている」といった心理的な状態や、「～を持っている」「～に住んでいる」のような現在の状態を表すときは動詞の現在形を用いる。
- 現在形を用いた文は、現在の一時点で行っていることではなく、ふだん繰り返して行う習慣的な行動を表すことに注目させる。例えば、I play the flute. (私はフルートを吹きます)という文は、「私」が今、フルートを吹いているという意味ではなく、フルートを吹くのが趣味だ、あるいは、吹奏楽部でフルートを担当しているなど、ふだんフルートを吹いていることを意味している点を理解させる。
- 現在進行形は、現在している最中のこと、変化しつづけること、また、一時的な状態を表すときに使う。

Expressions あいづちで関心を示す

- あいづちは、相手のことばに反応し、相手の意見に対する関心を示したり、どのように捉えているかを表現したりする、会話の重要な要素だ。
- 教科書で挙げた例のほかに、uh-huh (上がり調子で同意を表す), uh-uh (下がり調子で否定を表す), well (「おやまあ」驚き・非難、「ええと」ためらい、「やれやれ」安心、「それで?」発言を促す、など), right (「その通り、わかりました」同意・承知、上がり調子で「いいですか」確認)などがよく使われる。
- あいづちは短いことばであるがゆえに、イントネーションや口調によって意味が変わってくる。相手の話や状況をきちんと理解したうえで適切に表現する必要がある。
- Really! は下がり調子で「そうなんだ!」と相手の話に興味をもっていることを示したり、「そうだね」と同意を表したりする(言い方によっては「あ、そう」と無関心さを示すこともある)。Really? 「本当に?」は上がり調子で驚きや疑問を表す。

- A: Naoko speaks five languages. (ナオコは5か国語を話すんだ)
- B: Really? (本当に?)

Sounds /l/と/r/の発音

/l/と/r/の音は両方とも日本語では「ラリルレロ」と表記されるが、英語では、/l/は舌の先を上歯の裏につけて発音し、/r/は舌先を上歯の裏にはつけず舌全体を後ろに引いて発音する。

like や love などの /l/ は、舌の先をしっかりと上歯の裏につけて、特に第一アクセントの場合は音のはじめを強めに発音する。usually や actually など、第一アクセントではない場合は、舌の先を上歯の裏につける力をそれほど強くしなくてよい。

/r/の音は、舌先をどこにもつけないため、音はあいまいに聞こえる。日本語を話す際は、無意識に舌を動かしていることがほとんどなので /l/ の音と交互に練習するなど、舌の位置をしっかりと意識させて発音練習をするとういだろう。

Talk

会話は基本的に疑問とそれに対する応答から成り立っている。だが、形のうえでは疑問ではない発言が疑問の意味をもち、それに対して相手が応答する場合もある。要するに相手のことばをよく聞いて理解したうえで、自分なりのことばで応答することが肝心である。

会話の練習をする際には、自分がアンディあるいはケンタになったつもりで話すように指導したい。

Pick-Up

I'm in the soccer club. (僕はサッカー部に入っています)

上の文は I'm on the soccer team. と表現することもできる。club の場合は前置詞に in を使い、team の場合は on (《英》では in) を使う点に注意。

TT (Tongue Twister)

Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life. (ロビンとロバートはロックフォードに住んでいて、実に活気ある生活を送っている)

- r で始まる単語と、l で始まる、または l の音を含む単語が多く含まれている文。舌の先の位置がめまぐるしく変わるので、そこに注意して発音練習する。Robin, Robert, Rockford は Ro の韻を踏んでいるので、力強くリズムカルに発音するよう指導する。

LESSON 1 Interactions

Interactions Talking about Yourself or People Close to You

A 現在のことを表す

① I have a cat and love him so much.
② I usually go to school at 8:30.
③ My mother teaches biology at a high school.

例文訳 ① 私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。
② 私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます。
③ 私の母は高校で生物を教えています。

練習問題 ① から④までの空欄に適切な形にして文を完成させよう。

1. My father () cars and () for a car company.
2. He () a car, but he rarely () it.
3. He usually () home at seven and () home before dinner.
4. He always () of us and () care of us.
[like / take / work / leave / think / come / have / drive]

解説 ① 現在形の文を参考にして、自分の家族や職業、友人を紹介する文を書いてみよう。

例文訳 ペアになって①で自分が書いたことを話し合おう。話が通じたら、ペアの相手は内容に関する質問をしよう。相手の質問に答えるから質問を続けてみよう。相手の質問に答えることに関する質問 (Follow-up questions) もしてよう。

Q: What does your father do at work?
A: He designs cars.
Q: Wow, that's great! What kind of cars does he design?
A: He designs ...

例文訳 相手の質問に答えて聞いたことをもう一度で書いてみよう。

I see. I understand. I think so, too. I can't believe it! Really? No way! Yes, indeed. That's nice (good / great / wonderful / fantastic). That's too bad. Is that true? You're kidding! Are you serious?

練習問題 相手の質問に答えて聞いたことをもう一度で書いてみよう。

Q: What does your father do at work?
A: He designs cars.
Q: Wow, that's great! What kind of cars does he design?
A: He designs ...

Vocabulary

relative	be good at	analyze data	do one's homework
childhood friend	graduate from	do club activities	watch videos online
work from	leave for school	play the guitar	
resemble (look like)	ask one's advice	go to cram school	test friends

Interactions

自分自身のことや身近な人のことを話す CD1-11~19

- ☐ 自分や身近な人について、現在の状態やいつもすることを表現する。
- ☐ 自分や身近な人がしている最中のこと、これからしようとしていることを表現する。

例文訳

- ① 私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。
② 私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます。
③ 私の母は高校で生物を教えています。
④ 私は英語の授業のために作文を書いているところです。
⑤ 私の猫は太ってきていると思います。
⑥ 私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。
⑦ 私の兄は今年大学を卒業します。

A 現在のことを表す (現在形)

① 一般的な状態、心理的な状態を表す動詞

live (住んでいる) や have (持っている) などの状態動詞も現在形で使うと、現在を中心として一定期間継続する状態を表す。状態動詞は一般に進行形にはしないが、一時的な状態や変化しつつある状況を表すときは、例のように状態動詞を進行形として使うことがある。resemble は現在形でも「似ています」という和訳になるが、<be 動詞 + resembling> はあくまでも「～(人・生物)に似てきている、～(人・生物)似になってきている」という意味を表す

ときだけ進行形を用い、ふつうに「～に似ています」というときは resemble と現在形を用いることをしっかり理解させたい。

② My daughter is living in an apartment now. (娘は今、アパートに住んでいます) → アパート住まいは一時的

③ Linda's resembling her mother more and more. (リンダはますます母親似になってきている) (コンパスローズ) → 「似てきている」という進行中の変化を表している

love は 1 回の動作ではなく、何かが大好きだという現在の心の中の状態が一定期間続いていることを表す状態動詞。心理的な状態を表す動詞には love のほかに、like (好きである)、hate (嫌っている)、know (知っている)、think (思っている)、believe (信じている)、want (欲している)、hope (望んでいる)、understand (理解している)、forget (忘れている)、remember (覚えている) などがある。

② 習慣的な動作を表す動作動詞

繰り返すことや習慣となっていることは動作動詞の現在形で表し、頻度を表す副詞を伴うことが多い。頻度の高い順に、次のような副詞がある。always (いつも) → usually / normally / generally (ふだん) → often / frequently / regularly (たびたび) → sometimes (ときどき) → rarely / seldom (めったに～ない) → never (決して～ない)

③ 職業や習性、話す言語などを表す

「(職業として)～している」や「(言語)を話す」も「ふだんしていること」なので、動詞の現在形で表す。職業をたずねる場合には、最後に for a living (生計を立てるために) という語句を加えると「職業」について聞いていることが相手にはっきり伝わる。

④ What does she do for a living? (彼女の職業は何ですか) → 直訳すると「彼女は生計を立てるために何をしますか」

⑤ People in Canada speak English and French. (カナダの人々は英語やフランス語を話します)

CHECK

解答

1. My father (likes) cars and (works) for a car company. (父は車が好きで、自動車会社で働いています)
2. He (has) a car, but he rarely (drives) it. (彼は車を持っていますが、めったに運転しません)
3. He usually (leaves) home at seven and (comes) home before dinner. (彼はふだん家を 7 時に出て、夕飯前に帰宅します)
4. He always (thinks) of us and (takes) care of us. (彼はいつも私たちのことを考え、面倒を見てくれます)

TASK 1

解答例 1

Eri knows a lot about animals. She tells me a lot of interesting stories about them. (エリは動物についてよく知っています。彼女は私に動物についていろいろなおもしろい話をしてくれます)

解答例 2

I live in the suburbs of Tokyo. I often take a walk in the natural park near my house. (私は東京の郊外に住んでいます。よく家の近くの自然公園を散歩します)

POINT believe (信じている)、know (知っている)、live (住んでいる) が状態動詞で、現在形で表された現在の状態を表すと「～している」となる。

TASK 2

教科書掲載解答例訳

A: あなたのお父さんは仕事は何をしているの?

B: 自動車を設計しているんだ。

A: わーすごい! どんな自動車を設計しているの?

B: ...を設計しているよ。

会話例 1

A: How does Eri know so much about animals? (エリはどうしてそんなに動物について詳しいの?)

B: She's reading books about animals all the time. (彼女はいつも動物についての本をよんでいるから)

らね)

A: Is that true? Is she going to be a vet? (本当? 彼女は獣医になるつもりなの?)

B: No, she wants to be a zoologist. (いや、動物学者になりたがってる)

会話例 2

A: When do you usually go for a walk? (ふだんはいつ散歩にいくの?)

B: Right after I wake up in the morning. (朝起きてすぐよ)

A: You're kidding! I don't have time for that because I'm rushing around every morning. (嘘だろ! 僕は毎朝バタバタして、そんな時間ないよ)

D: It feels great walking in the morning and makes me more energetic. (朝歩くのは気持ちよくて、元気がでるわ)

POINT 活動を始める前に、どのような Follow-up questions が考えられるか共有してから始める、会話がスムーズに始められ、会話も展開しやすくなる。

E-GUIDE

あいづちには、相手への同意 (I think so, too. / Yes, indeed.), 否定 (No way!), 同情 (That's too bad.), 疑問・確認 (Is that true? / Are you serious?) などがある。

* I see. (なるほど) * I understand. (わかります)

* I think so, too. (私もそう思います)

* I can't believe it! (信じられない!)

* Really? (本当に?)

* No way! (とんでもない!)

* Yes, indeed. (まったくそのとおりです)

* That's nice [good / great / wonderful / fantastic]. (それはすてきだね / いいね / すてきね / すばらしいね / 見事だね)

* That's too bad. (それは残念 [お気の毒に])

* Is that true? (それって本当なの?)

* You're kidding! (まさか!)

* Are you serious? (本当に? [本気なの?])

Listening-TASK

CD1-16

音声スクリプト

1. My sister works at a fashionable boutique downtown. (姉は街なかのおしゃれなブティックで働いています)

A: That's wonderful. (すてきです)

B: Where do you work? (あなたはどこで働いていますか?)

C: I suppose so. (そう思いますよ)

2. I was late for the meeting because the train was delayed. (電車が遅れたから会議に遅刻しました)

A: Yes, I did too. (はい、私もです)

B: That's too bad. (それはお気の毒に)

